



笑顔と活力を未来へつなぐ！安中市総合運動公園の大規模改修が始動 ～市民のウェルネスからトップアスリート育成まで、地域を支える新拠点へ～

安中市 みりよく創出部 スポーツ課

安中市のスポーツとコミュニティの核として親しまれてきた「西毛総合運動公園」が、令和8年4月に「安中市総合運動公園」へと名称を一新しました。現在、令和8年9月の一般供用開始に向けて、国の社会資本整備総合交付金やスポーツくじ助成金を効果的に活用した陸上競技場の大規模な改修事業が着々と進められています。本事業は、単なる老朽化対策にとどまらず、都市公園の機能高度化を通じて市民の健康増進、競技力向上、そして地域活性化を一気通貫で目指す総合的なまちづくりプロジェクトです。今回は、群馬県の新たな活力を生み出す本改修事業の「3つの大きな意義」に迫ります。



安中市総合運動公園 全景

■ 第4種L公認の全天候型へ！競技環境と備品の劇的進化

改修前の陸上競技場の最大の課題は、クレイ（土）舗装だったトラックの老朽化でした。今回の改修では、衝撃吸収性の高いウレタン舗装を施した「第4種L公認陸上競技場」として適正に整備・更新します。アスリートや学生が天候に左右されず、安全かつ快適に全力を尽くせる最新の環境を確保。インフィールドも土から鮮やかな人工芝へと生まれ変わり、2029年開催の「湯けむり国スポ・全スポぐんま」のアーチェリー会場など、多種多様な公認大会や記録会の開催が可能となります。さらに、スポーツくじ（toto・BIG）助成金を活用し、ハードルをはじめとした4種L公認規格を満たす最新の検定規格品（備品）を網羅的に整備。今後はこれらを適切に管理・収納するための専用倉庫の建設も予定しており、ハード・ソフトの両面から地域の選手たちのモチベーションを高め、県全体の競技力向上を牽引します。



工事前（上）、工事後（下）

■ 「ウェルネススポーツ」で多世代が集う健康空間

本公園が目指すもう一つの姿は、子どもから高齢者まで誰もが主役になれる「ウェルネススポーツ」の拠点です。本格的な競技層だけでなく、市民が日常的にウォーキングやジョギングに親しめるよう外周園路等も順次整備し、生涯スポーツを力強く推進します。緑豊かな都市公園の特性を活かし、多世代の市民が運動を通じて自然に集い、心地よく交流できる空間を創出することで、心身ともに健やかに暮らせる持続可能な地域社会の構築をサポートします。

■ 公園から広がるにぎわいと地域活性化のサイクル

魅力的なハード整備は、市民のスポーツ実施率を向上させるだけでなく、関係人口の拡大という大きな副次効果をもたらします。新しくなった安中市総合運動公園を「安中市のスポーツ振興のシンボル」として機能させ、周辺地域から多くの大会参加者や観客を呼び込みます。公園発の賑わいを周辺の観光資源や商業へ波及させ、交流人口の拡大と地域経済の活性化へとつなげていく、これからの公園まちづくりの好事例として期待が集まっています。



ゴール前

